

令和3年度 第13回教育研究審議会議事概要

日 時 令和3年11月10日(水) 午後4時05分～午後4時55分

場 所 本部棟 3階 大会議室

出席者 藤田英典学長、杉本光司副学長、田中昌弥副学長(兼)キャリア支援センター長、齊藤浩稔事務局長、小林重雄理事、春日由香学長補佐、佐藤明浩学長補佐、加藤敦子図書館長(兼)語学教育センター長、日向良和情報センター長(兼)共通教育センター長、廣田健教職支援センター長、北垣憲仁地域交流研究センター長、茂木秀昭国際交流センター長、竹島達也研究科委員長、三浦幸子英文学科長、佐藤裕比較文化学科長、原和久国際教育学科長、鳥原正敏学校教育学科長、春日尚雄地域社会学科長、宮下洋一総務課長、小澤初美経営企画課長、久保田昌宏学生課長

1 開 会 藤田学長より挨拶

2 議 事

(1) 専任教員の採用について(地域社会学科・国際政治学)

○委員から資料1に基づき説明。

→提案どおり承認(2週間の閲覧期間を設け、令和3年11月24日投開票)。

(2) 非常勤講師の担当科目コマの発議・提案(学校教育学科)

○委員から資料2に基づき説明。→提案どおり承認。

(3) 教育職員免許法施行規則の改正によるICT事項科目の新設に伴う本学の対応について

○委員Aから資料3に基づき説明。

(学長)

今回の改正を受けて多くの大学で専任教員の公募が始まっている。ICTの技能を十分に身に付けるという点で、教職支援センターに専任の教員を1名配置したい。学内推薦という形で募集したいため、次回の教育研究審議会では提案したい。

(委員B)

現在、山梨大学を中心にAIや数理科学を活用した教材研究のプロジェクトが進んでいて、第1回目の研究会に出席したところ。担当の教員が決まった場合はこの研究会にもご参加いただきたい。

(委員C)

先ほどの説明に1単位以上の科目とあるが、1単位の内容だと7回の授業の中でICTに関する知識が難しく中途半端になってしまい、教育方法論の中でシェアするという意見もあるが、それだと全部が中途半端になってしまうため、あえてこの科目を2単位とした。

それ以外にも、これまで教職の免許には機器の操作を含むということでコンピュータの操作の実習があったが、それ以外に数理AIを使った科目でもどちらでもよいとのことだったが、文化系の大学だけそういう方向も考えていかなければならないとなると、配属先を考えたとき教職支援センターで日常的にサポートする必要がある。

→提案どおり承認。

(4) 2022 春期 TISP 交換留学生受入について

○委員から資料4に基づき説明。

(委員)

今回は受け入れ可否の審議ではなく、受け入れに向けて手続きを進めてよいかを諮りたい。

(学長)

ガイドラインについては次回の教育研究審議会で諮るのか。

(委員)

留学生の受け入れに関して緩和するという政府の方針が出されたので、次回の教育研究審議会でガイドラインについてお諮りしたい。

(学長)

文部科学省が既に示した留学生の受け入れ等の指針を踏まえたガイドラインとして次回提案するが、今回は手続きを進めてよいかの審議となる。

→提案どおり承認。

(5) 2022 年度前期 韓国外大・上海外大受入について

○委員から資料5に基づき説明。

(委員)

今回は受け入れ可否の審議ではなく、受け入れに向けて手続きを進めてよいかを諮りたい。

→提案どおり承認。

(6) 令和4年度非常勤講師担当科目の訂正について(第5回)

○委員Aから資料6-1、6-2に基づき説明。

(委員B)

諸資格となっている科目があるが、諸資格委員会では議論されていないため、ご検討していただきたい。

→一部確認した上で提案どおり承認。

(7) 令和4年度非常勤講師担当科目について(第6回)

○委員から資料7に基づき説明。→提案どおり承認。

3 そ の 他 ○なし

4 閉 会

以 上